

ポリテクセンター佐賀

技能の大切さ学ぶ

ものづくり体験教室を開催

親子で銅板レリーフ製作など



▲ウッドチェア製作の様子

ポリテクセンター佐賀（佐賀市兵庫町、峯恭彦所長）は3日、親子ものづくり体験教室を開いた。小学4〜6

だ。

年生と保護者35組が参加し、職業訓練校の実践的な環境や知識の下、ものづくりを支える技能の大切さを学んだ。この取り組みは、ものづくりに関連する仕事に興味を持ってもらえるよう、全国の職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）で毎年行っているもの。佐賀では、もの



▶完成したミニ四駆でレースを行った

づくりの楽しさを体験するため、「ミニ四駆」、「銅板レリーフ」、「ホーククラフト」、「ウッドチェア」の製作を行

った。

銅板レリーフづくりでは、絵やキャラクターなどの紙を銅板にセロハンテープで貼り付け、職業訓練指導員の手解きを受けながら、丸棒でなぞって立体感を出していった。指導員は「銅はとてもやわらかいので、力の入れすぎで穴が開かないように注意して丁寧に作業を行って」とアドバイスしていた。

ミニ四駆は、親子で協力しながら製作し、完成したミニ四駆でレ

ースを行った。参加した子どもたちは「丁寧に教えてくれたので、とても分かりやすかった。次は違うプログラムに参加したい」などと語り、保護者は「作り方が分からなかった部分も職員がすぐに教えてくれたので、楽しく取り組むことができたと話した。」